

4. 実学奨励・殖産興業策

☆かつて新井白石は「農産物は毛・皮、金銀は骨」と例え、日本の貿易に警鐘を鳴らした。
新井白石の政策の多くを否定した吉宗ではあったが、貿易に対する白石の提言は採用し、劇的な改善をもたらした。

Q 1. 清からの最大の輸入品を生産奨励し、自給体制を確立してしまう。その品とは何？

A 1. 生糸

Q 2. 一方、朝鮮から大量に輸入されていたある作物（薬としての人気大）栽培を対馬で成功させ、各地での栽培につなげる。国産化に成功した朝鮮からの人気作物とは何？ [図表P. 192②③]

A 2. 朝鮮人参（オタネニンジン、高麗人参）

◇飢饉の際、穀物の代わりとなる作物の普及を推進。（別名甘藷、蕃薯）

Q 3. 中国から琉球を経て、鹿児島に伝来した、いざというとき頼りになる芋とは？

A 3. サツマイモ（甘藷）

Q 4. 『蕃藷考』を著し、この芋の栽培法を東日本にも広めたため、「甘藷先生」と尊称された人物は誰？

A 4. 青木昆陽

※なお、彼は吉宗の命令により野呂元丈とともにオランダ語を学習、蘭学者の先駆ともなった。

◇他に、檀（ろうそくの原料）、甘蔗（サトウキビ）、胡麻などの生産も奨励された。

◇1 漢訳洋書 の輸入制限を緩和…2 キリスト教 関係のものは引き続き輸入不可

5. 江戸の都市政策 ～ 町奉行・3 大岡忠相 が中心的役割

①消防態勢の強化＝4 町火消 の創設 [図表P. 192②③]

（それまであったのは幕府による5 定火消 と藩による大名火消）

②貧民の施療施設・6 小石川養生所 の開設。

—— 将軍吉宗が評定所前に置いた7 目安箱 への投書により

※小石川には薬草の研究をする薬園があり、その敷地内に増設された。そのため当初は、薬草の人体実験場との風評が立ち、利用が滞った時期もあったという。

6. 法制の整備

①8 公事方御定書 の編纂…上下巻からなる江戸幕府の基本法典。判例を中心とする下巻は通称『御定書百箇条』といわれ、裁判・刑罰の基準となった。三奉行など一部の役職のみ閲覧できる秘密法典として成立したが、やがて諸藩・民間にも広まった。

②9 御触書寛保集成 …広く一般に通達した御触書を部門別に編集したもの。のち宝暦、天明、天保期にそれぞれ作成された。

◇ 町火消の創設、広小路・火除地の設定などの延焼防止策も大岡忠相の業績の一つと考えられています。図表 P. 174④には特に大きかった災害が一覧となっていますが、この一覧に載らないような火災もひんぱんに発生していたようです。なぜ火事が多かったのでしょうか。

（考えられる理由を「確認③」に乗せます。）

当時の消火方法を皆さんは知っていましたか？火を消せるほどの水が町中では用意できないため、いかに早く火元の周り（特に風下）の家を破壊して延焼を防ぐかという一点に全力が注がれていました（「破壊消防」）。手元でちょっと密集した家の図を描いてもらえばわかるとおり、一軒が燃えている状態ではその周辺の破壊対象が限られているのですが、燃え広がっていくに従って破壊範囲がどんどん広がり、延焼防止が困難になります。最初の動きが大事なのです。そこで、各組の纏持ちが図表 P. 192②③の写真にある纏を持って屋根に上がって振り回し、破壊目標を組の人々に知らせると、そこにとび職人を中心とする火消し組が集まって破壊にかかるという一連の行動がいかに早くできるかが勝負でした。この町火消の活動に対する評価は上がっていき、最初は町人地だけを担当していたものが、やがて武家屋敷にも出動するようになり、最終的には江戸城の消火活動にも参加するようになったようです。江戸町方の47（のち48）組は「い組」「ろ組」「は組」「に組」というようにひらがなをもとに組名がつけられましたが、教科書 P. 220図版の説明文からは使用が避けられたひらがながあったことがわかります。どのひらがなが想像してから見てみましょう。教科書には書いてありませんが、最後にできた48組目は「ん」を避けて「本組」とつけられました。

◇ 小石川養生所は、将軍徳川吉宗が直接鍵を開けて読む仕組みをとった投書箱である目安箱への投書を吉宗が採用して大岡忠相に命じてつくらせた施設であることで知られています。この投書を行った人物は特定されていて（住所氏名を記入して投書するため）、町医者の小川笙船という人物です。この小川笙船をモデルに、山本周五郎が小説を書き、その小説をもとに黒澤明は映画を撮影しました。この映画『赤ひげ』の雰囲気が使われているテレビCMが、「血圧130を超えたら…」の胡麻○茶のCMです。この赤ひげ先生のモデルが小川笙船といわれています。